

新潟大学皮膚科特別セミナー

日時: 2025年8月27日(水)18:00~

* Zoomにて開催します。

免疫ペプチドミクスによる がん抗原探索とがんワクチン開発

新潟大学分子病理学・教授
金関貴幸先生

T細胞はMHC提示された抗原ペプチドを識別し細胞変化を絶え間なく監視している。本講演では、抗原ペプチドがMHCクラスI提示されるメカニズムと抗原ペプチドを網羅解析するための技術的アプローチ、特に我々が確立した免疫ペプチドミクスを紹介する。そしてがん組織の解析を通して見えてきたがん抗原ランドスケープと治療応用を目指したがんワクチン開発についてお伝えしたい。

1. Tokita S, Kanaseki T, et al. Identification of immunogenic HLA class I and II neoantigens using surrogate immunopeptidomes. *Science Advances*. 2024 Sep 20;10(38):eado6491.
2. Kobayashi S, Kanaseki T, et al. Proteogenomic identification of an immunogenic antigen derived from human endogenous retrovirus in renal cell carcinoma. *JCI Insight*. 2023 Aug 22;8(16):e167712.